このブックガイドは 2018 年の夏に作成したものです。

当時のように安全に、自由に旅行ができるようになるには

まだ時間がかかりそうですが、このガイドに載っている本を

活用して、お家の中で世界の大旅行気分を

お楽しみいただければと思います。

2020 年 5 月　芝川図書館

発行：富士宮市立芝川図書館
TEL:0544-65-2802　ホームページ：http://www.fujinomiyalib.jp

芝川図書館　たけぽん通信 号外　2018 年夏号

各~~駅~~本停車 ぶらり 読書の旅

～次に降りるのは、どの本にしますか？～

好きなもの、知りたいことを追い求めるうちに、気付けば世界の大冒険へ飛び出していた…。そんな人たちが書いた本を集めました。

幻のカレーを求めてイギリスへ、雪男を探してヒマラヤへ、郷土のお菓子を巡って自転車で世界の旅へ…。どの本の著者も、好きなものへのひたむきな情熱と好奇心を持っています。そんな方々の冒険譚は、きっと皆さんの心をワクワクさせてくれることでしょう。

お家の中で、本を使った世界旅行をお楽しみになってはいかがでしょうか？

『幻の黒船カレーを追え』　水野仁輔／著　小学館

日本のカレーライスのルーツは、インドではなかった！？
カレーをこよなく愛する著者は、日本のカレーの「はじまり」を求めて旅へ出た。横浜や神戸から始まり、気付けば**勤めていた会社を辞めてまで**イギリスへ渡り、さらにはフランス、ドイツへ飛ぶことに…。カレーのレシピ本も多数手がける著者による、本気で真面目だけど愉快な調査報告。
読んだ後は、きっとカレーを食べたくなるはずです。

『雪男は向こうからやって来た』　角幡唯介／著　集英社

「雪男なんて実在するはずがない…」そう思っていたのに、ふとしたことから雪男探索チームの一員としてヒマラヤへ渡ることになった著者。チームのメンバーは実在を熱く主張し、有名な登山家は雪男と出会った体験を事細かに語る。果たして雪山で一同は何を見たのか、著者は何を思ったのか…？
冒険家たちを突き動かす、未知へのロマンを感じられる一冊です。

『行商人に憧れて,ロバとモロッコを1000km 歩いた男の冒険 ～リアル RPG 譚～』春間豪太郎／著　ベストセラーズ

行方不明の友人を探してフィリピンへ、ラクダと遊牧生活を送るべくエジプトへ、そして**ロバと一緒に旅するためにモロッコへ**。
相棒のロバは暴れん坊だけど、旅の中で絆を育む。道中で子猫やニワトリも仲間に加えて、訪れた町では住人との交流を楽しむ。異国でのトラブルにもひるまず、知恵をふり絞って切り抜ける…。抜群の行動力を持つ著者による、映画や小説も顔負けの大冒険をお楽しみください。

『世界の郷土菓子 ～旅して見つけた！地方に伝わる素朴なレシピ～』　郷土菓子研究社・林周作／著　河出書房新社

自転車にまたがり、郷土のお菓子を巡る旅に出発進行！　約３年半を費やして世界を巡った著者が集めたレシピを多数掲載。現地の人との心温まるふれ合いからスマホ盗難事件まで、山あり谷ありの旅日記も読みごたえ十分。さらに**珍しくて美味しそうな郷土菓子の写真がいっぱいで、眺めるだけでも楽しめる**という、なんとも贅沢な一冊です。

『世界のへんな肉』　白石あづさ／著　新潮社

アルマジロの味はマグロの頬肉にそっくり！？　ラクダの肉は鹿肉に近い？バッファローやビーバー、キリンってどんな味…？サバンナからジャングル、雪山まで、世界中で著者が味わった肉の食レポを軽快に綴った楽しい一冊。ちなみに本書の最後の章で著者が訪れたのは、**なんと静岡県**。果たして何の肉を食べたのでしょうか？ぜひ、実際に読んでお確かめください。

『給食のおばさん、ブータンへ行く!』　平澤さえ子／著　飛鳥新社

30 年間、調理師として小中学校の給食を作り続けた著者の元に、**「ブータンの給食を改善してほしい」**という依頼が舞い込んだ。
還暦間際にして挑む異国でのチャレンジ。語学には自信が無いし、調理器具や材料が揃わないトラブルも起こる。だけど、「給食おばさん」の経験と前向きな姿勢を武器に、料理を通じてブータンの子どもたちと心を通わせていく。
慣れない環境でもひたむきに頑張る著者の姿に、きっと元気がもらえます。

『バッタを倒しにアフリカへ』　前野ウルド浩太郎／著　光文社

ファーブルに憧れ、**バッタに食われたい**と願う虫好き少年だった著者は、好きが高じてバッタの研究者としての道を歩み始めた。バッタの大群を調査するためアフリカのモーリタニアに滞在するも、慣れない環境に四苦八苦、おまけに肝心のバッタに出会えない。さらに「**バッタの研究で食べていくのは難しい**」という厳しい現実が立ちはだかり…。
ユーモアあふれる文体で楽しく読める科学ノンフィクション。「好き」を大事にして生きていくことの、大変さと素晴らしさが伝わってきます。

『全 196 カ国おうちで作れる世界のレシピ』　本山尚義／著　ライツ社

著者が世界中で集めたレシピを、**１９６か国分も紹介している料理本。**
載っているのは、少しのスパイスと冷蔵庫の中身で作れるような料理ばかりです。例えば、鶏肉とナス、バジルを炒め、水とナンプラーを加えて煮込めば、ラオスの料理「オッカイ」の出来上がり！味のレパートリーを手軽に広げたい方にもおすすめの一冊。世界中の料理を巡り、最後に載っているレシピが**「著者のお母さんがよく作ってくれたお好み焼き」**という構成も素敵です。